

ワシントン州：小麦作柄と気象状況

2009 年 6 月 21 日現在

概況 ワシントン州東部の 6 月 21 日に終る 1 週間の気象は、比較的低目の気温となり時に驟雨の有る気象であった。EC地区の最高気温は 82～85 度F、SE地区（Palouse地方）の最高気温は 78（Pillman）～85 度Fであった。平均気温は平年を 1～2 度上回ったが、日中の最高気温は平年を下回った。1 週間の降水量はSE地区にて 0.14～0.42 インチであった。EC地区の降雨は極めて部分的な限られた地区にて記録された。1 週間の州平均農作業稼働日数は 6.1 日（前週：6.7 日）であった。Topsoilの土壌水分は減少したが、Subsoilの水分は前週より改善した。しかし、土壌水分は 5 年平均より悪い状態が続いていた。全州に於ける冬小麦の 95%が出穂した。昨年より早い進展であった。春小麦は 47%（去年同期：47%、5 年平均：59%）が出穂した。乾燥地帯の小麦は特に水分を必要としていたが、気温が上昇しなかったことと、少量であるが降雨が有った為、作柄が悪化することはなかった。Walla Walla郡及びWhitman郡では週半ばに降雨が有り、小麦にとり有効であった。冬小麦の作柄は前週より多少改善したが、春小麦の作柄は多少評価が落ちた。

土壌水分及び灌漑用状況(*)

(%)		Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	This week	5	34	46	15
	5-Yr Ave.	3	21	73	3
Subsoil	This week	9	36	54	1
	5-Yr Ave.	6	28	65	1
Irrigation	This week	0	1	98	1
	5-Yr Ave.	2	5	91	2

冬小麦の生育状況(*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr.Average
Headed	95	81	89	93

冬小麦の作柄状況(*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	8	13	29	48	2
Last week	11	16	26	44	3

春小麦の生育状況(*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr.Average
Headed	47	30	47	59

春小麦の作柄状況(*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	1	10	42	45	2
Last week	1	10	43	46	2

(*) Source: Washington Agricultural Statistic Service, National Agricultural Statistic Service, Oregon Field Office, 5-Yr Ave means average of past 5 years 2004,2005,2006,2007 and 2008 Crop year.